

構造熱橋対策

真の「外断熱建物」の実現のために

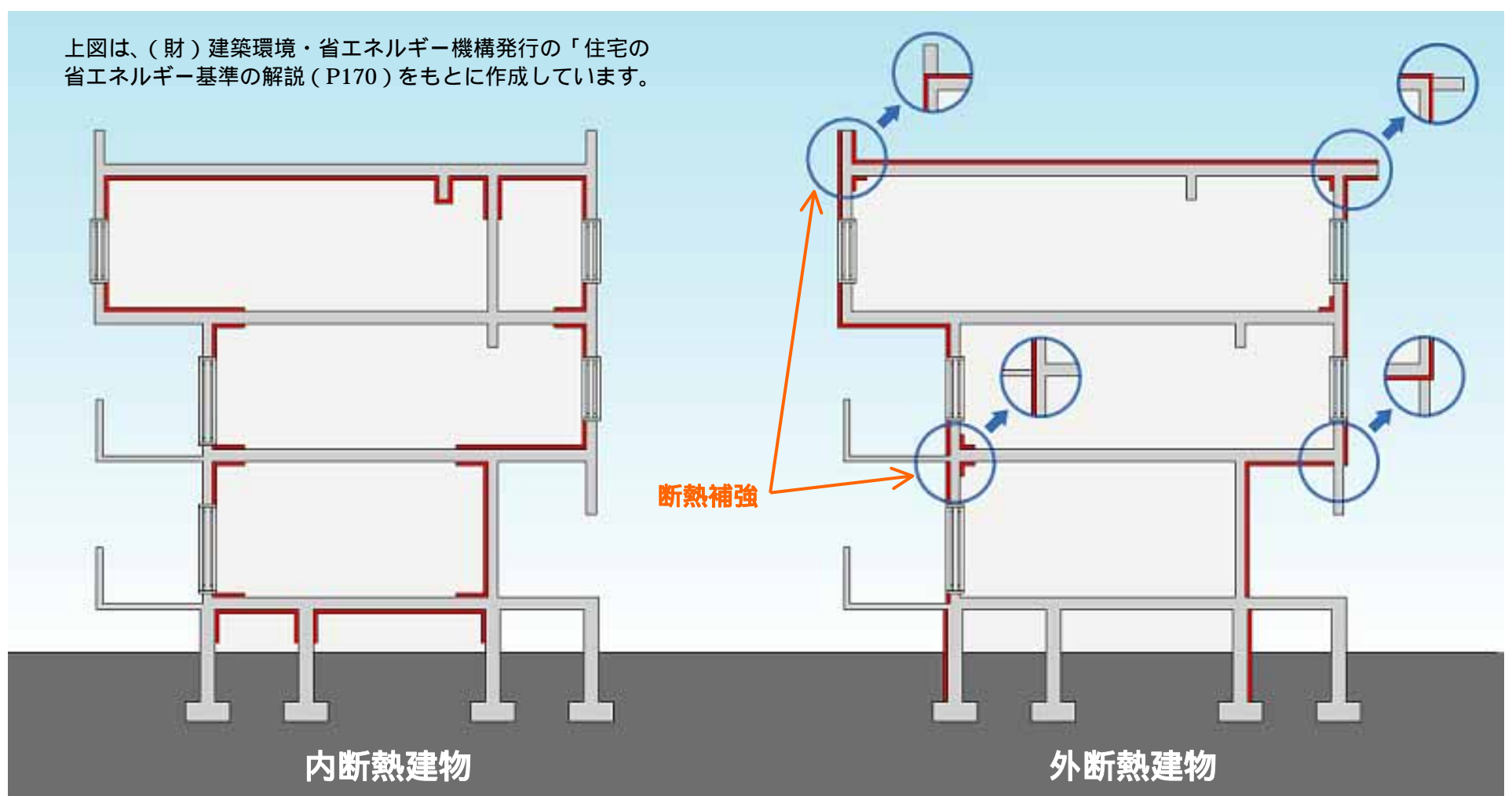
外断熱建物は、コンクリート建物躯体の蓄熱効果を応用した住まい手に快適で環境に負荷を与えない、人にも地球にも、とても優しいパッシブなシステムです。

しかし、真の外断熱建物を実現しようとすると、必ずバルコニーやパラペットなどの跳ね出し部分からの熱橋（ヒートブリッジ）の課題に突き当たります。

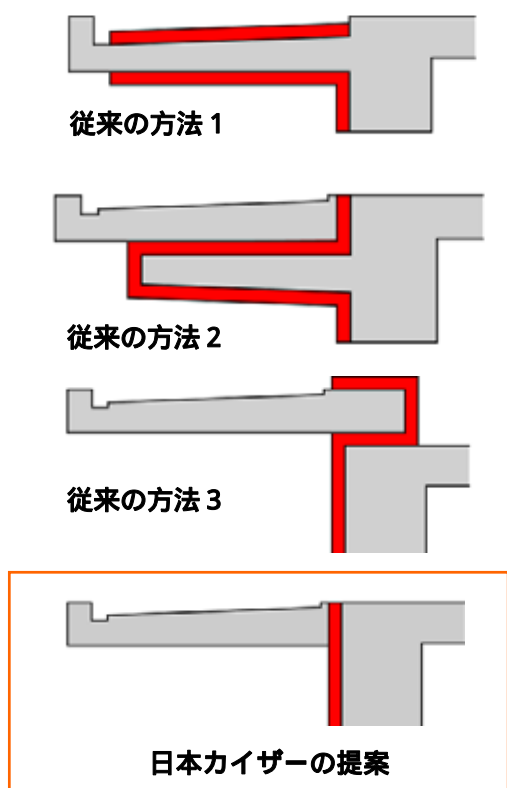
これまで、バルコニーなどからの熱橋対策は、いくつかの試験的方策はあるものの、多くは「構造熱橋」と称し無視されるか、「やむを得ない」ものとして、断熱補強（構造熱橋の部分のみ内断熱処理）で対応する基準により建築されてきました。

日本カイザーは、より完成度の高い「外断熱建物」の実現を目指し、バルコニー等からの熱橋を削減するシステムを開発しました。

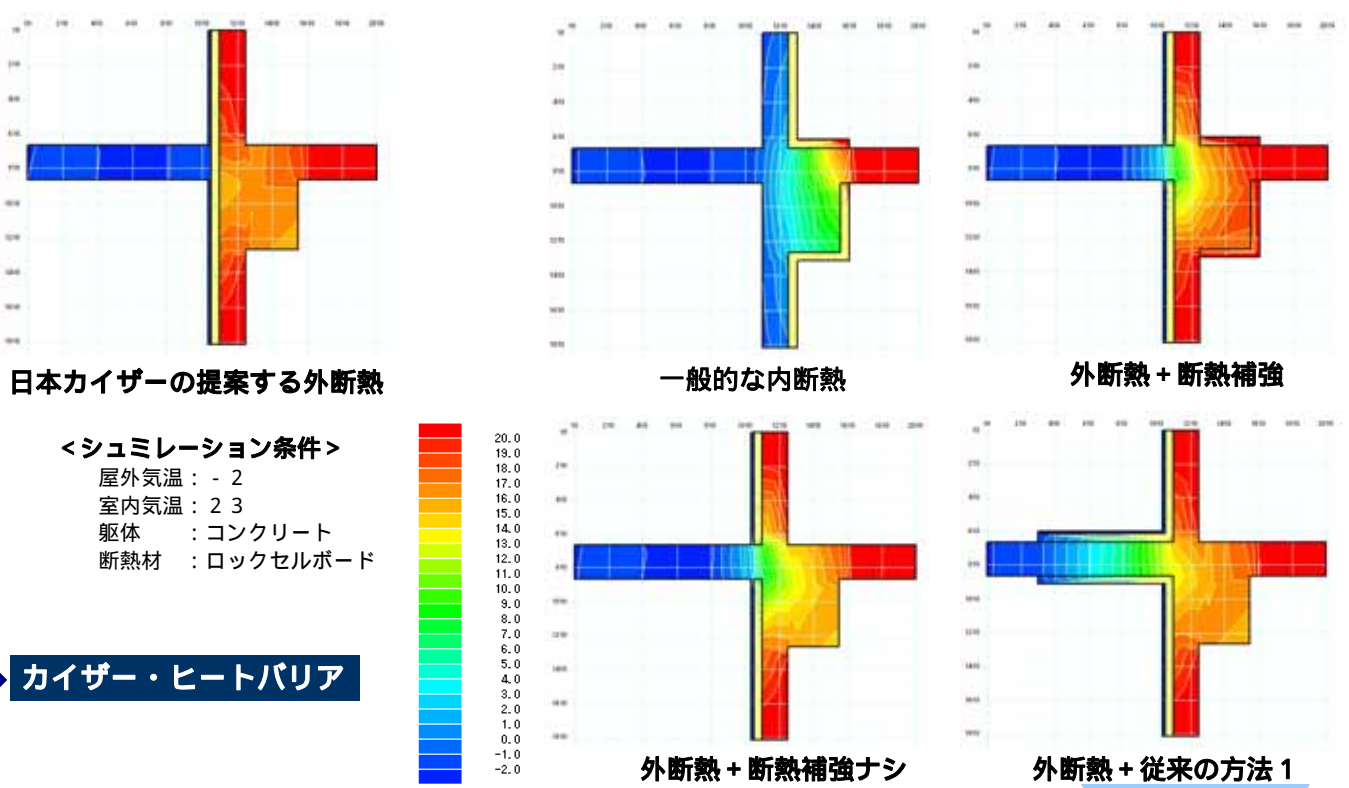
上図は、(財)建築環境・省エネルギー機構発行の「住宅の省エネルギー基準の解説(P170)」をもとに作成しています。



熱橋対策の基本パターン



各種の断熱パターンによる等温シュミレーション

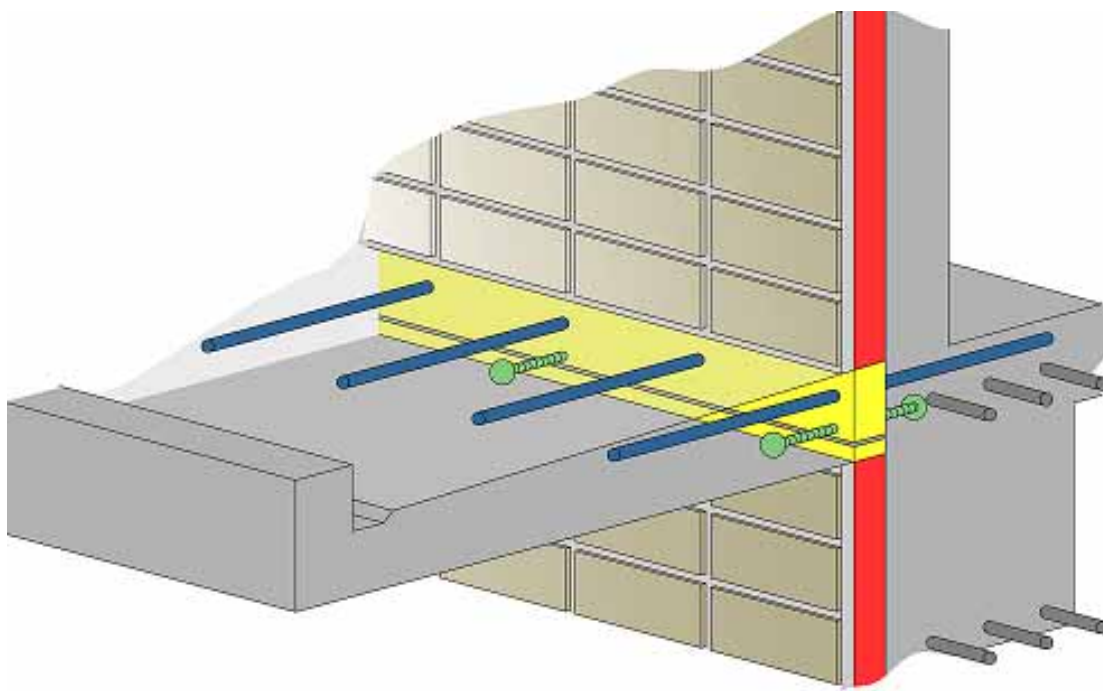


<お問い合わせ先>
 日本カイザー(株)P C a事業部：TEL 03-3498-0650
 FAX 03-3498-0613

カイザー・ヒートバリア

バルコニー、パラペットの熱橋防止

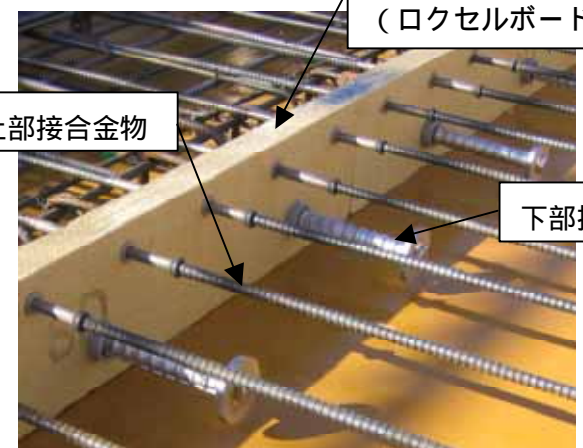
1. 外断熱建物の最大の課題であるバルコニー等跳ね出し部分からの「ヒートブリッジ対策」を合理的ディテールで実現
2. 各種の外断熱工法とも組合せ可能
3. 優れた耐震性能、耐火性能（60分耐火相当、120分耐火相当）
4. 軽快で自由なデザインのバルコニーを実現
5. 躯体施工時にヒートブリッジ対策は完了



カイザー・ヒートバリアの使用イメージ



バルコニーの配筋状況

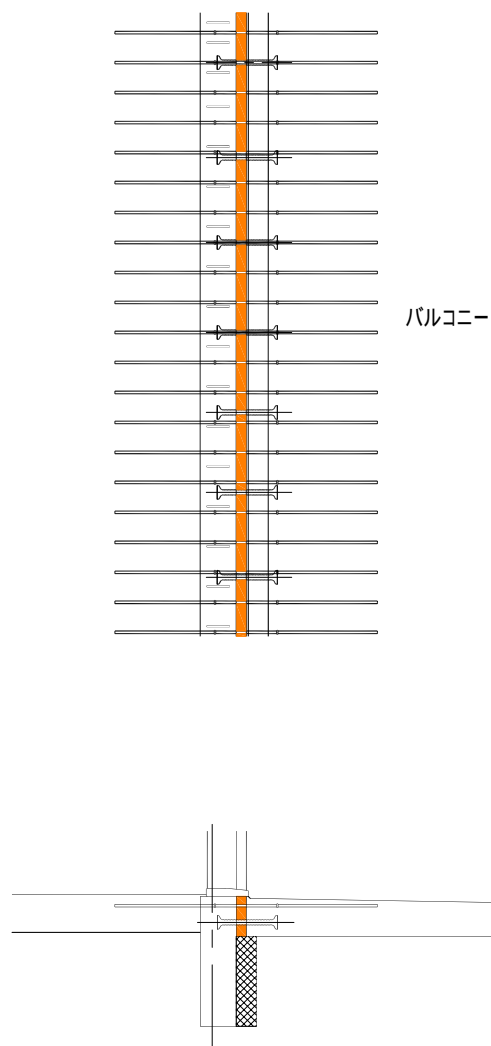


断熱材
(ロクセルボード)

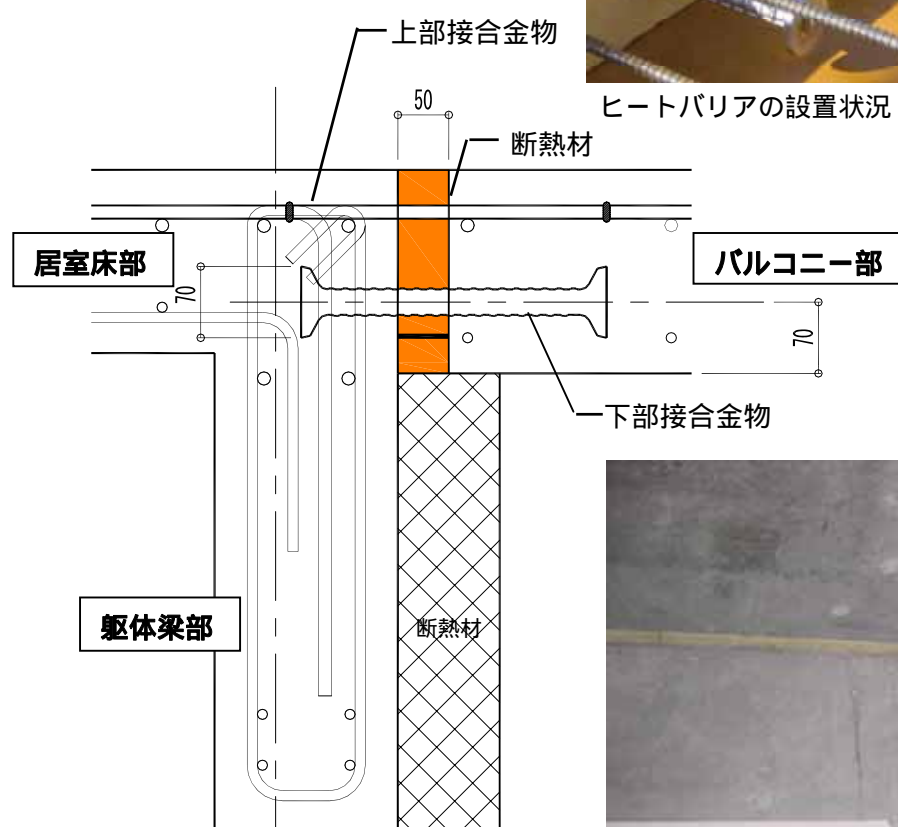
上部接合金物

下部接合金物

ヒートバリアの設置状況



バルコニー



ヒートバリアの納り例



ヒートバリアの打込み完了状況（壁の断熱前）